

令和５年度 第３回半田市介護保険運営協議会 議事録

開催日時	令和６年１月２６日（金）	１４時００分～１５時００分
開催場所	半田市役所 会議室 ３０３・３０４	
会議次第	１ はじめに ２ 議事 （１）半田市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画（案）に係るパブリックコメントについて【資料１、当日資料（パブコメ原本）】 （２）半田市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画（最終案）について【事前資料（計画最終案）】 ３ その他	
出席委員 （欠席委員）	（会長）竹内 一浩 （委員）（新美 貴弘）、服部 聡、（土方 靖浩）、（加藤 金吉）、篠崎 誠、森 邦弘、林 豊、加藤 博史、森川 武彦、大橋 典子、山崎 秀和、原田 三樹子、岩橋 平武、（伊藤 大介）、古橋 完美、榊原 かおる、（江口 澄子）、松井 一夫	
事務局	（福祉部）竹部部長 （高齢介護課）沢田課長、茶谷副主幹、藤塚副主幹、岩本主査、杉江主事 （健康課）竹内課長、木村副主幹、池尻主査 （地域包括支援センター）山本副センター長 （委託業者）Next-i 株式会社 安村	
傍聴者	２名	
次第	議事概要	
【１ はじめに】	・資料等確認	
【２ 議事】 （１）半田市高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画（案）に係るパブリックコメントについて【資料１、当日資料（パブコメ原本）】	（事務局） ・資料１、当日資料（パブコメ原本）に基づき、パブリックコメントの結果について説明。 ・パブリックコメントについて、６名の方から意見をいただきました。 ・１人目は、高齢者の孤立についての状況と、それを解消できるような、多世代で活動できる場がないかという意見でした。 ・２人目は、介護保険料が高いのではないかと意見をいただいています。 ・３人目は、半田市で行っている介護サービスの内容や、認知症施策、在宅療養・介護サポートセンター運営についての意見でした。 ・４人目は、こちらも介護保険料が高いのではないかと意見をいただいています。また、その他に高齢者の移動に関するサービスを充実させてほしい、高齢者祝い金事業についても意見をいただいています。 ・５人目は、こちらも介護保険料が高いのではないかと意見です。 ・６人目は、意見が多岐にわたっていますが、計画全体を通した意見をいただいています。 ・資料１がパブリックコメントでいただいた意見と、それに対する市の考え方（案）になります。	

- ・保険料について、意見をいただいた 6 名中 4 名の方から、高いのではないかという意見をいただいています。資料 1 の通し番号 2 番をお願いします。「物価が高騰する中で、年金の上昇と比して今回の介護保険料の上昇はつり合いが取れていません。」という意見に対する市の考え方として、「高齢化の進展、特に後期高齢者数が増え、介護サービスを利用する方が増えると、その分介護保険料の上昇につながります。介護保険は、個人の力だけでは対応できない部分をお互いに助け合う仕組みです。ご理解をお願いします。」という回答となっております。
 - ・介護保険料は、介護サービス費に 100%あたっているため、必要なサービス量が決まると、それに応じて介護保険料が決まってしまうという仕組みになっており、こういった回答となっています。
 - ・保険料以外に計画を修正した部分は、資料 1 通し番号 22 番「成果指標の目標値設定の根拠を説明してください。」に対して、計画 90・91 ページで、現状値・目標値の設定根拠を加筆しています。
 - ・資料 1 通し番号 23 番のご意見について、8 期計画（前回の計画）の目標未達成の理由と、今後の取り組みについて具体化が必要ではないかについては、「8 期計画成果指標に対する結果については 38 ページ」に掲載していると回答しております。計画案 38 ページを見ていただくと、「8 半田市における現状と課題」ということで、令和 3 年度から令和 5 年度にかけて推進してきた 8 期計画の内容についてこちらで振り返っているものであり、8 期計画は多くの目標値が未達成として終わっていますが、その大きな理由としては新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったということで、こちらにまとめております。
- （議長）
- ・何か質問等ありますでしょうか。
- （委員）
- ・通し番号 9 番について、「おでかけタクシー」や「タクシー利用券」の支給を検討してください、ということに関して、これは全く答えていないのではないかと思います。料金のところは明確に答えているので、もう少し具体的に答えた方がいいと思います。この回答は当たり前のことが書いてあるだけです。
 - ・通し番号 18 番について、「具体的な計画が必要です」という意見です。これについても、計画のことは何も答えていないと思いました。
 - ・通し番号 25 番について、「認知症グループホーム入居者の居住費助成の検討状況を教えてください。」という意見に対して、近隣市町で実施している市町村が少ないだけが理由なのではないでしょうか。意見を提出された方からすると、これでは足りないのではと思います。
 - ・通し番号 4 番も、入浴を実施しているデイサービスが少ない、これは計画案 47 ページだと思いますが、それと通し番号 6 番の「訪問診療が現在市外事業所への依頼が増えてきている」、7 番のだし丸くんネットのご意見など、これに対して例えばどんなことがあるのかなどをもう少し具体的に書かないと、「それでどうするのか」という記載が全くないと思います。
 - ・お金のことは本当にはっきりと「できません。」「理解をお願いします。」と答えていますが、そうでないものが非常にあいまいで具体性がないと思いました。
- （事務局）
- ・具体的に答えられていない部分は具体的に、また、これまでの経緯等を知らない人が見て

	もわかるような書きぶりに修正します。 (委員) ・通し番号 22 番について、「8 期計画は目標を下回ったものが多く、これらは 9 期計画の目標値に据え置きしています」と書いてありますが、その原因は何ですか。結局、新型コロナウイルスの影響があるのでしょうか。 (事務局) ・理由としては、新型コロナウイルスは大きく関わっているし、無視できないと考えています。そのうえで、8 期で目標を達成できなかったものについては、もう一度同じ目標値を掲げて 9 期はやっていきたいという回答になります。 (委員) ・具体的に下回ったものはどれでしょうか。 (事務局) ・計画案 90、91 ページの 9 期成果指標の中で、基本方針 1 の指標①、基本方針 2 の指標①、基本方針 3 の指標①、基本方針 4 の指標①、基本方針 6 の指標になります。 (委員) ・今言ったことは、どこか見れば分かるのでしょうか。 (議長) ・38 ページの「現状と課題」に書いてある目標値が第 8 期計画の目標値となっています。これを見ると例えば基本方針 1 では図表 2 - 44 では目標値が 85.0%であるのに対し、令和 4 年度の結果が 81.0%で、目標を下回ったという結果になっています。これを踏まえて 90 ページでは目標値を据え置いてまた 85%にした、ということですね。 (事務局) ・その通りです。 (議長) ・現状と課題のページと、成果指標のページが離れすぎていると思います。例えば、この指標のところに 8 期の成果はこのページに書いてあるからそこを参照してください、というようなことが書いてあるだけでも、戻って見ることができると思います。 (事務局) ・ご意見いただいたように、分かりやすくなるように表記を改めます。 (委員) ・今の基本方針 1 の指標について、38 ページの内容でいくと、令和元年度の 84.5%を受けて目標値を 85%に設定したとしたら、令和 4 年度で 81%に下がっているところから 85%にすることは少し厳しい目標設定だと思いました。 実際のところ、前回を下回っているから据え置きますということですが、その前はどうかの、その前から据え置いているのか、何年か後に計画を評価する次の時にも、下回ったからまた据え置くということになると、何か根本的な原因を探らなければならないということになると思います。 ・通し番号 20 番について、「運営協議会での審議が不十分」「運営協議会でもっと審議すべき」と書いてあり、今更ですがここでもっとちゃんと話し合わなければならないということを痛切に感じました。
--	--

	(事務局) ・先ほどの目標値設定について、計画案 38 ページでは令和元年度の実績が 84.5%であることに對して目標値を 85%と設定したことで、前回は 0.5%上げるという目標を立てていて、今回は 4.0%ということで上げ幅が大きいのではないかとご指摘でよろしかったでしょうか。通し番号 22 番の回答をごらんください。 基本方針 1 の指標について、令和元年度の結果は 84.5%、もう 1 期前の結果も見ると、その平均が 84.45%でした。また、前回の調査の際に、同じ調査に参加した 64 自治体の中央値が 85%でした。 この 3 年間で本市では 81%まで落ちましたが、今回、コロナがいったん終息して健康状態が良いと答える方が、前回程度には伸びるのではと想定し、上り幅としては大きくなりますが、85%と据え置きをしています。 (委員) ・基本的な考え方の確認になりますが、高齢化が進んでいる中でこういった数値を出していくわけですが、基本的に高齢化が進むと、こういった数値はだんだん悪くなるという見方の中の目標値という考え方で間違いないでしょうか。 何も手を加えなければ、恐らく数値はどんどん落ちていくのかなと思っていますが、それで合っていますでしょうか。 (事務局) ・そういったものが多いと思いますので、この指標を達成するために事業を実施することになります。 (委員) ・私は 8 期計画の時は関わっておらず、9 期になって初めて参加していますが、通し番号 20 番の「運営協議会の審議が不十分です」という意見について、ここでは保険料についてですが、そうではなくて全般的に具体的な討議をするような場がないと思います。 あくまでも、事務局が作ったものを承認するような、そんな状態になっているのではと思いました。 第 9 期計画ができて、4 月からスタートするわけですが、具体的な一つ一つの項目に関して、今後も審議する必要があるのではないのでしょうか。 (事務局) ・来年度も、再来年度も介護保険運営協議会はあり、今年に関してのみ、3 年に 1 度という形で集中的に計画策定をする年になります。そうではない年に関しては、計画にのっとってこういったことをやった、やれなかった等事業の評価をし、ではこうしたら良いのではないかなどの意見をいただきながら進める場が変わります。 (議長) ・いただいた色々な意見も取りまとめていただき、計画案も少し修正していただければと思います。
(2) 半田市 高齢者保健福祉計画・第 9 期 介護保険事業	(事務局) ・今回の計画案が最終案になりますので、前回の協議会から変更となった部分について説明いたします。また、先ほどの成果指標の部分は、分かりやすい表記に修正します。 ・59 ページの「地域ケア個別会議」について、委員から事業内容の優先順位が違うのではな

計 画（最 終 案）について	いかというご意見をいただいたため、自立支援多職種カンファレンスを上位に位置づけて修正しています。 ・続いて 60 ページ、図表 5－1 サービス見込み量の推計の手順の「3」が「要介護認定者数の推計」となっていましたので、「利用者数の推計」に修正しています。 ・続いて 61 ページについて、令和 5 年度までの人口実績と、9 期計画の推計等で、65 歳以上人口の推計値を最新のものとしています。 ・71 ページ、介護保険料にも関わりますが、特別養護老人ホームが不足している現状がある中で、第 8 期でも増床したいという計画を立てていましたが、建築資材の高騰や人材不足で達成できていないこともあり、増床を令和 7 年度から令和 8 年度に修正しています。そのため、令和 7 年度の数値が、前回示した 474 から 434 へ、40 人分減っております。 ・78 ページから、保険料算出のページとなり、介護サービスの金額が令和 6～8 年度でどうなるのかを積み上げた表となっております。例えば図表 5－6 の一番上の「訪問介護」について、778,187,000 円となっておりますが、前回お示ししたときは 767,000,000 円ということで、1 千万円程度金額が上昇しております。これが、前回説明しました介護保険の報酬改定で、既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、介護サービスを担う事業所の今後 3 年間の報酬が 1.59% 上がるということで、その影響によって金額が上昇しています。 ・先ほどの特別養護老人ホームの増床を 1 年先送りにした件について、図表 5－6 の下から 4 番目に「介護老人福祉施設」がありますが、こちらの令和 7 年度の金額が 1,451,325,000 円となっておりますが、前回お示しした際は 1,549,662,000 円となっており、サービス利用量が減ったためこのような形で表れています。 ・代表的なものを説明しましたが、基本的には介護サービスの報酬改定によって金額が上がっています。 ・そのため、前は標準の第 5 段階は月額 6,282 円とお示しましたが、今回 6,294 円と 10 円ほど上がっています。全体については 88 ページに掲載しています。 ・88 ページは半田市の保険料として第 1 段階から第 13 段階と設定しています。これは、前回の運営協議会でお示したものと変わらず、第 8 期から 1 段階増えた 13 段階となっております。 ・保険料は前期と比べても高くなっており、パブリックコメントでも多くの意見をいただいています。ただ、これに関してはサービス利用量との裏表という関係もあるため、一概に減らすことがなかなか難しい部分であり、今後ご理解を求めていくことになると考えています。 ・92 ページからは資料編ということで、計画の中で使われている単語や分かりにくい単語についての用語集を入れております。また、98、99 ページは介護保険の考え方、100 ページに委員名簿、101 ページに運営協議会の開催経過を掲載しています。 （議長） ・何かご意見ご質問等ありますでしょうか。 （委員） ・親が元気だったのに急に弱ってしまい、家の中に手すりを付けるか、要介護認定受けるかということで、バタバタしているところです。こういった状況になってようやく大事なことで身につまされて分かってきました。保険料を増やさずに何とかしよう、ではサービスを受けたい人には受けさせないようにするのかといえば、それはとんでもない話です。
---------------------------	---

	では何ができるのかといったら、やはり介護状態にならないように予防することしかないと思います。そうした場合に介護状態にならないように予防するためには、高齢者だけで何とかなる問題ではなく、まだ若い私たち世代が頑張って介護状態にならないようにしていかなければならないと思います。 ・あと市役所の出前講座など憶測ですが、高齢者のところへ行っているのではと思います。もう少し若い方に介護保険について教えてはいかがでしょうか。 介護保険料は払っていても、どうやって使っているか知らないという若い方に、保険料はこういう風に使われていて、実際にあなたたちの親が使うことになる、年を取れば自分が使うことになる伝えて、介護状態にならないように、保険料がこれ以上あがらないように伝えていくことが必要だと思います。 (事務局) ・今言っていたように、健康課がここにいる意味がそこにあります。 健康課としては、病気の予防、若い方の生活習慣病の対策、がん予防が大きなテーマとしてあります。 ただ、これらは、いずれ若いうちの病気がそういった高齢期の介護につながるというところもありますので、我々としてはもちろん 40 代、50 代の方への生活習慣病対策も重要ですが、その先に介護に移行しないようにという意味も込めて、予防事業を進めています。 ・介護保険制度を若い方に理解していただくということは、やはり難しく分かりにくいところもあるので、我々がそういった病気の予防をお話する中で、この予防が将来の保険料の抑制、医療費の抑制などにつながっていくということも添えて、市民の方々に広報していきたいと思っています。 (議長) ・他に何かご意見ご質問等ありますでしょうか。 なければ、計画案の審議は終了とさせていただきます。 ・先ほど一部修正という話が出ていますが、その部分の修正をしたうえで、この計画案をご承認いただけるかお諮りいたします。 最終案を一部修正の上で承認ということでよろしいでしょうか。 (異議なしの声) (議長) ・それでは、修正をしたうえで進めてください。
【その他】	(事務局) ・今回の意見をうけて修正した部分は改めてお送りします。 ・今後の流れとして、主に介護保険料については半田市議会の 3 月定例会に諮り、そちらで可決となります。本計画は 4 月からスタートということになります。 (議長) ・全体を通して何かご意見ご質問等ありますでしょうか。 (委員) ・毎月第 1 金曜日に、この会議室 303 で認知症家族交流会をやっていますが、非常に参加率が悪い状況です。 市報やホームページで P R をしても、高齢者は見ません。今、市報は 2 カ月に 1 回の案内

	になっているので、医師会やかかりつけ医、歯科医、薬局などに働きかけてPRしていただきたいです。 ・認知症の介護で悩んでいる方は、悩みを吐き出すのが大切です。私もこの交流会に出て随分助けられました。今もそういった方がいらっしゃると思います。先日も名古屋の家族教室に講師として認知症の介護体験を話に行きました。やはり聞いてもらうとすごく共感してもらえます。ぜひとも、そういう場をどんどん広げていただきたいと思います。 (事務局) ・来年度、こういった取組について私たちも力を入れていきたいと考えているところです。具体的な計画についても、今は企画しているところですので、また交流会の皆様にも来年度のスケジュールをご紹介させていただくなど、具体的に示していきたいという段階です。もうしばらくお待ちいただければと思います。 ・医師会等色々なところにもっとPRをということで、市民に直接というルートもありますし、団体向けということも力を入れていきたいと思っていますので、来年度交流会が活発化するように力を入れていきたいと思っています。 ○福祉部長あいさつ (竹部部長) ・今期は計画策定につきまして、ありがとうございました。 今日もたくさんのご意見をいただきました。特に、市民の皆さんへの説明、パブリックコメントの回答もそうですし、介護保険事業の説明をしっかりと、若い世代の方へもというご意見をいただきました。真摯に受け止めて、これからしっかりと取り組んでいきたいと思っています。 今回計画を作りましたが、もう次年度からは計画を実行する段階になります。計画の目標達成に向けてしっかりと取り組んでいきます。 今回で、皆さんは委員を終了となりますが、次期をお願いする方、今回を最後にという方いらっしゃるかと思います。今後とも介護保険事業に、それぞれのお立場でご協力・ご理解をいただければ幸いです。2年間ありがとうございました。
	(15:00 閉会) (閉会后、地域密着型サービス部会を開催)